



本校 HP

光満つ

札幌市立南が丘中学校 | 学校便り | 令和6年10月31日



南が丘祭 山本 諒太

10月3日（木）、4日（金）に第41回南が丘祭を行いました。昨年度に引き続き多くの来賓の皆様や保護者の方々に参加していただくことができ、大変ありがたく感じるとともに、生徒の充実感も大きい学校祭になったのではないかと感じています。

今年度の新たな取り組みとして、全校で巨大行燈（あんどん）を制作しました。初めてのことに苦戦しながらも、級友と協力しながらデザインを考えたり、ダンボールで枠を作ったりして、制作を進めました。開会式にて、暗い体育館の中でライトを当てて披露した際には会場から歓声があがり、完成した喜びや達成感を得られたことと思います。

部門別に分かれて行う活動は例年通り行いました。創作（装飾）部門では、下の写真の通り「universe」というテーマのもと統一感のある装飾を校内に施しました。異学年交流部門では工夫を凝らした演出で会場全体を巻き込む盛り上がりを見せました。ステージ部門ではお笑い要素満点のパフォーマンスを披露し、どの学年の発表も会場が歓声と笑いに包まれました。演劇部門では、学年ごとに異なるジャンルの劇を披露し、観衆をその世界観に引き込んでいました。また、吹奏楽部や演劇部の発表では部活動ならではのこだわった演出が光り、会場を魅了しました。

くす玉のアクシデントなどもありましたが、生徒会役員が時間をかけて準備をした甲斐もあって、きっと個々の記憶に残る思い出深い学校祭になったのではないのでしょうか。





小中一貫教育・連携事業について

小中学校の教職員が互いの教育課程や日常の学習指導、生徒指導等を相互に理解し合うこと、9年間の系統性・連続性のある教育を実現し、子どもの知・徳・体の調和のとれた育ちの一層の充実をねらいとする札幌市の「小中一貫した教育」も5年目を迎えています。今年「さっぽろっ子自治的な活動」の活性化を図る取組の一つとして9月5日に札幌コンベンションセンターで「さっぽろっ子サミット」が開催されました。このサミットでは、1学期末に南の沢小と藻岩南小の児童会と南が丘中学生徒会役員が「みんなの笑顔があふれる楽しい学校へ」というテーマについて意見交流した内容を、他の中学校の生徒会役員の前で発表しました。また、南が丘中学校の恒例行事となっているボランティア活動「ラベンダープロジェクト」に今年は児童会も参加し、ラベンダーの刈り取り作業を協力して行うことができました。

札幌市の「小中一貫した教育」の目的

「自立した札幌人」の実現に向け、義務教育段階において「知・徳・体の調和のとれた育ち」の一層の充実を図る

札幌市の「小中一貫した教育」推進の四つの視点

1

9年間を通した
子どもの学びの
つながり

2

子ども理解・
生徒指導の
連続性

3

教職員の
連携・協働

4

家庭や地域
との関わり



TT 少人数指導の実践

昨年度に引き続いて、TT（ティーム・ティーチング）と少人数指導（習熟度別指導）を行っています。1学年はTTが国語、数学、理科、英語、少人数が国語、数学、英語、2学年はTTが国語、理科、英語、少人数が国語、数学、英語、3学年はTTが数学、理科、少人数が国語、数学、英語で実施しています。また、特別支援学級では、「共生社会の形成にむけて双方の社会性や豊かな人間性を育む学習」の一環として通常学級の授業に入る交流学习を行ったり、通常学級の教諭が特別支援学級の授業に入ったなどの指導を行っています。



避難訓練



10月22日(火)、避難訓練を行いました。今回は地震発生に関わる訓練で、はじめに10分程度の動画を視聴しました。動画では、家具の転倒防止、避難生活の準備など今できることについて現役消防士から説明がありました。また配付した資料には地震が発生したとき取るべき行動や事前に行うべき対策についてクイズ形式で記載されており、生徒は何が正しいのかを考えながら学ぶことができました。当日は天候が良かったためグラウンドに避難しました。移動はとてもスムーズに整然と行われましたが、校内で安全を確保する行動等、これからも注意を払い心がけなければならないことを確認しました。